

2025年度

学生募集要項

[学校推薦型選抜]

● 公募制推薦入試Ⅰ期

(教科型・総合型・保育者養成型)

学校教員養成型・音楽教員養成型)

● 公募制推薦入試Ⅱ期

(総合型)

[一般選抜]

● 一般入試

● 大学入学共通テスト利用入試

目 次

- 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー) ……1
- Web出願の流れ ………………4

公募制推薦入試 学校推薦型選抜

- 1. 公募制推薦入試Ⅰ期 ………………8
- 2. 公募制推薦入試Ⅱ期 ………………15
- 3. 出願上の注意 ………………18
- 4. 受験上の注意 ………………19
- 5. 合格発表について ………………20
- 6. 入学手続について ………………21
- 推薦入試2024（問題のみ掲載） ……22

一般入試／共通テスト利用入試 一般選抜

- 入試日程 ………………27
- 出願資格・入学検定料 ………………28
- 出願に必要な書類・
一般入試の入学試験問題について ……29
- 1. 一般入試A
(3教科型・2教科型・共通テスト併用型) …30
- 2. 一般入試B
(2教科型・共通テスト併用型) ……36
- 3. 大学入学共通テスト利用入試A ……39
- 4. 大学入学共通テスト利用入試B ……43
- 5. 出願上の注意 ………………47
- 6. 受験上の注意 ………………48
- 7. 合格発表について ………………49
- 8. 入学手続について ………………50
- 9. 成績開示 ………………51
- アクセスマップ

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

桜山女子学園大学は、本学園の教育理念「人間になろう」の下、次のような目標と能力を持ち、大学で得た知性と教養を活かし、「人を大切にし、人と支えあい、自らがんばれる人」となるための教育を目指します。このような教育方針に共感する人であって、次のような意欲・能力を持った人を受け入れます。

1. 大学での学びを通じ、目的や目標を持てる人

学びたい専門分野・領域、研究テーマがある人、将来社会に出てやりたいことや仕事がある人、取り組んでみたい課外活動や社会活動・ボランティア活動がある人

2. 大学で学ぶための基礎学力を有する人

学習の基盤となる国語、数学、外国語及び各学部学科が必要とする教科について一定基準以上の基礎学力（知識・理解）を有する人

3. 自分の能力を高めたい人

自ら考え（思考力）、決定し（判断力）、それを伝える（表現力・コミュニケーション力）能力を高め、自己を成長させることができる人

4. 主体性を持って多様な人と協同して学べる人

授業以外にも、生徒会活動、課外活動（スポーツ、文化など）及び社会活動（ボランティア、地域交流、国際交流など）に積極的に参加してきた人で、その経験を大学での学びに生かせる人

学部・学科名	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
生活科学部	生活科学部では、生活の中の身近な科学、すなわち、衣・食・住のいずれかに携わる職業人を輩出するという明確な方針に基づき、その教育目標を十分に理解し、それに相応しい基礎力を有する人を受け入れます。
生活科学部 管理栄養学科	管理栄養学科は、将来「食と健康」を基盤とする臨床福祉分野、食品産業分野、食育指導分野などの専門領域で活躍できる人を望んでいます。そのため、本学科では、次のような人を受け入れます。 ＜知識・技能＞ <ul style="list-style-type: none">・「化学基礎」と「生物基礎」を含む基礎学力を有する人 ＜思考力・判断力・表現力＞ <ul style="list-style-type: none">・上記分野の仕事に管理栄養士として従事し、社会貢献したいという目的意識と勉学意欲を持つ人・「食と健康」分野に关心が高く、学んだ知識と技術を社会で実践し役に立つことを望む人・課題を見つけ、自分の考えを表現する事に努められる人 ＜主体性・協働性＞ <ul style="list-style-type: none">・人間性が豊かで向上心を持ち、自身の成長、周囲との和と協働に努められる人
生活科学部 生活環境デザイン学科	生活環境デザイン学科では、生活環境を構成するアパレルメディア、インテリア・プロダクト、建築・住居の各分野に関連した「ものづくり」について、つくりて・つかいて両方の視点から科学的に探求し、それを具体的なデザインとして提案・実践する力を養成します。そのため、本学科では、次のような人を受け入れます。 ＜知識・技能＞ <ul style="list-style-type: none">・本学科の専門領域を学習するための基礎学力を有する人・理系、文系を問わず、幅広く基礎学力を身に付けている人 ＜思考力・判断力・表現力＞ <ul style="list-style-type: none">・理系の能力、あるいは、コミュニケーション能力や感性的表現力などに優れている人 ＜主体性・協働性＞ <ul style="list-style-type: none">・目的を有し、主体的かつ周りとの和もはかりながら、人としての成長を望む人
外国語学部	外国語学部は、地球市民であること（グローバル・シチズンシップ）を前提に人間の歴史をグローバルにとらえ、複数の言語（日本語を含む3言語）と複眼的視座によって、環境破壊、人権問題、宗教対立、紛争、高齢化、ジェンダー・ギャップなど、地球規模の課題について、優れた対話力と高い倫理観によって国際社会と地域社会へ貢献できる人間の育成を目的としています。したがって本学部では以上の目的を共有する学習意欲のある人を受け入れます。
外国語学部 英語英米学科	英語英米学科は、国際共通語としての英語及び他の外国語の実践的運用力を基に、英語圏の地域と文化並びにグローバル社会の理念や現状について広範な知識を有し、英語を用いた総合的判断力と思考力を活かしてグローバルな課題に取り組むとともに、新しい文化や価値の創造に寄与する能力を育成することを教育目標としています。英語英米学科では、授業科目を履修する上で必要な基礎的な能力及び学習意欲を持ち、さらに次の能力関心を持った人を受け入れます。 ＜知識・技能＞ <ul style="list-style-type: none">・国際社会、国際情勢の諸問題について、基本的な知識を基に理解している人・英語及び外国語に深い意欲と関心を持ち、高校卒業程度の英語の知識と運用能力を持つ人・英語圏と世界の歴史・文化・社会について、高校卒業程度の知識を持つ人 ＜思考力・判断力・表現力＞ <ul style="list-style-type: none">・ここは一般と異文化に対する高い関心を有し、異なる背景を持った人々と対話するための論理的思考力を持つ人 ＜主体性・協働性＞ <ul style="list-style-type: none">・他者と協働し、自発的・主体的に問題を発見し、課題解決へ導き、新しい価値を創造することに关心がある人

学部・学科名	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
外国語学部 国際教養学科	<p>国際教養学科は、英語に加えてフランス語、ドイツ語又は中国語の各外国语の実践的運用力を身につけ、ヨーロッパ、あるいは日本を含むアジアの各地域及びグローバル社会の理念や現状について広範な知識を有し、専門とする言語に基づいた総合的判断力と思考力を活かしてグローバルな課題に取り組むとともに新しい価値の創造に寄与する能力を育成することを教育目標としています。国際教養学科では、授業科目を履修する上で必要な基礎的な能力及び学習意欲を持ち、さらに次の能力関心を持った人を受け入れます。</p> <p>＜知識・技能＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会、国際情勢の諸問題について、基本的な知識を基に理解している人 ・外国语に深い意欲と関心を持ち、高校卒業程度の英語（あるいはフランス語、ドイツ語又は中国語）の知識と運用能力を持つ人 ・ヨーロッパ、日本を含むアジアと世界の歴史・文化・社会について、高校卒業程度の知識を持つ人 <p>＜思考力・判断力・表現力＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことば一般と異文化に対する高い関心を有し、異なる背景を持った人々と対話するための論理的思考力を持つ人 <p>＜主体性・協働性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者と協働し、自発的・主体的に問題を発見し、課題解決へ導き、新しい価値を創造することに関心がある人
人間関係学部	<p>人間関係学部は、人間の多様性及び心理に関する専門の学術を学際的かつ総合的に教授研究します。本学部は、広範な知識、総合的な判断力及び深い洞察力を有し、人間と人間関係及び心理に関する諸問題を解明・解決することができる高度な人間関係力を備えた人材を養成します。</p> <p>本学部では以上の目的を共有する強い学習意欲のある人を受け入れます。</p>
人間関係学部 人間共生学科	<p>人間共生学科では、多様な人々が共に生きる社会において、一人ひとりの能力が発揮できる社会の創造に貢献できる人材を養成します。したがって、本学科では次のような人を受け入れます。</p> <p>＜知識・技能＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学科の専門領域を学修するために必要な基礎学力を有する人 <p>＜思考力・判断力・表現力＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の多様性や共生社会に強い関心を持ち、社会のさまざまな課題を発見し、課題の解決に向けて深く考える人 ・他者の考え方を受容し、理解しようとする人 ・自らの考え方を言葉で表現・記述する力を身につけようとする人 <p>＜主体性・協働性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の個性を認め、共感を持って他者と協働しながら、主体的に課題に取り組もうとする熱意がある人
人間関係学部 心理学科	<p>心理学科では、人間と心理に関する諸問題を解決することができる人材を養成します。したがって、本学科では次のような人を受け入れます。</p> <p>＜知識・技能＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学科の専門領域を学修するために必要な基礎学力を有する人 <p>＜思考力・判断力・表現力＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間と心理に強い関心を持ち、身近な現象の中からそれらの課題を発見し、課題について論理的に考え、解決しようとする態度を持っている人 ・人間や心理を多面的・客観的に理解しようとする人 ・他者との違いを認めつつ、自分の意見を表現する力を持っている人 <p>＜主体性・協働性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者と積極的にコミュニケーションを取り、他者と協働しながら、人間や心理に関する課題に主体的に取り組む姿勢を持っている人
情報社会学部	<p>情報社会学部では、大学教育を受けるための基礎学力を有し、情報技術を通して、現代社会の課題解決と発展に貢献しようとする意欲を持つ、次のような人を受け入れます。</p>
情報社会学部 情報デザイン学科	<p>情報デザイン学科では、「データサイエンス」「コミュニケーションデザイン」「情報・アーカイブ」の3つの領域を学び、現代の情報社会への適応力を身につけ、さらに、データサイエンス、情報デザイン、デジタルアーカイブの知識と技術を活用して、現代の情報社会における様々な課題解決に必要な情報をデザインできる人材の養成を目的としています。情報に関わる様々な問題に関心を持ち、より良い社会を創るために多様な人々と協力しながら主体的に行動できる人を求めます。このための学修に必要となる学力を持った、次のような人を受け入れます。</p> <p>＜知識・技能＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文系科目、理系科目を問わず、高等学校の教育課程を幅広く学修し、基礎学力を持っている人 <p>＜思考力・判断力・表現力＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会に強く関心を持ち、そこで生じている様々な課題を発見することができる人 ・社会事象を論理的かつ多様な視点から評価し、課題解決のための方策を具現化しようとする人 ・自らの考え方を文章で他者に表現できる力を持っている人 <p>＜主体性・協働性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な人々と主体的に協働して物事に取り組む姿勢を持っている人 ・自らの考え方を他者に的確に説明できるコミュニケーション力を持っている人 ・情報に関わる専門知識と技術を社会に役立てようとする意欲を持っている人 ・課題解決や価値創造のため、地域社会と協働して、様々な社会活動や学習活動に積極的に取り組むことができる人

学部・学科名	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
情報社会学部 現代社会学科	<p>現代社会学科では、「メディアスタディーズ」「観光・まちづくり」「持続可能な社会」の3つの領域を学び、地域社会を学びの場とするフィールドワークやプロジェクト型学習を柱とした学修で得た知識と技術を活用して、現代社会の発展に貢献できる人材の養成を目的としています。私たちが暮らす社会の様々な課題に関心を持ち、より良い社会を創るために多様な人々と協力しながら主体的に行動することができる人を求めます。そのための学修に必要となる学力を持った、次のような人を受け入れます。</p> <p>＜知識・技能＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会に生じている様々な課題を学ぶための基礎学力を持っている人 ・現代社会における課題の理解に必要な基礎的知識と、自らの考えを自らの言葉で他者に説明することができる、文章力やコミュニケーション力を持っている人 <p>＜思考力・判断力・表現力＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会に強く関心を持ち、そこで生じている様々な課題を発見することができる人 ・社会事象を論理的かつ多様な視点から捉えて評価し、課題解決のための方策を具現化しようとする人 <p>＜主体性・協働性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における課題解決のために主体的に取り組み、多様な人々と協働しながら、自分の能力を発揮しようとする人 ・課外活動、ボランティア活動、社会貢献活動など、自身が関心を持つ課題に積極的に取り組もうとする人
現代マネジメント学部 現代マネジメント学科	<p>現代マネジメント学部では、現代社会における様々な事象に关心を持ち、社会科学（経営・経済・法律・政治）に関する専門知識を修得し、将来、「企業経営」「公共政策」のいずれかの分野においてマネジメント能力を活用できるような職業に就きたいと考えている人を受け入れます。</p> <p>本学部が考えるマネジメント力とは、企業の経営に限ったものではなく、地方自治体や地域社会等で発生する問題を解決する能力も含みます。そのため、次のような人を受け入れます。</p> <p>＜知識・技能＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科学に関する教科（「地理・歴史」「公民」）はもちろんのこと、コミュニケーションをとるための「国語」「外国語（英語）」、データを分析・処理するための「数学」「情報」の基礎学力を有する人 <p>＜思考力・判断力・表現力＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好奇心旺盛で、何事にも全力で取り組む人 ・どんな問題に対しても自分の意見をもち、表現できる人 ・社会問題に关心があり、問題解決のための行動を起こせる人 <p>＜主体性・協働性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らと異なる様々な意見にも耳を傾け、建設的なコミュニケーションを取ることができる人
教育学部 子ども発達学科	<p>教育学部は、教員・保育者として社会に貢献でき、また、生涯にわたって学び、成長し続けられる人材を育てることを目的としています。本学部ではこの目的を理解する、次のような人を受け入れます。</p> <p>＜知識・技能＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学部での学びの基礎となる、教育における諸課題について基本的な知識・技能を身につけている人 ・国語、数学、音楽の中学校・高校の免許取得を希望する人は、高等学校までにおける該当教科の内容について十分な知識・技能を身につけていること <p>＜思考力・判断力・表現力＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学修により得た知識・技能を生かした思考力・判断力・表現力を身につけている人 ・国語、数学、音楽の中学校・高校の免許取得を希望する人は、各教科の内容を深く探究し表現しようとする意欲を持っていること <p>＜主体性・協働性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人
看護学部 看護学科	<p>看護学部では、豊かな人間性と確かな実践力を有する看護職者を育成することを目指します。看護職者は、多様な対象者の幅広いニーズに応え、適切な支援を行う専門職です。そのため、次のような人を受け入れます。</p> <p>＜知識・技能＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力の基本となる「国語」「英語」の基礎学力を有している人 ・論理的思考力の育成及び医学的基礎を理解する「数学」「理科」の基礎学力を有している人 <p>＜思考力・判断力・表現力＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間に対する積極的な関心を持ち、地域社会に貢献したいという意欲のある人 <p>＜主体性・協働性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲と協調することができ、コミュニケーション能力を有する人 ・自己研鑽を続けることができる人

Web 出願の流れ

※詳細は「出願ガイド2025」で確認してください。

1. 事前準備

- パソコン環境の準備
- カラープリンターの準備
- メールアドレスの準備
- 証明写真（顔写真）データの準備
- 角形2号封筒の準備
- 出願書類の準備



2. マイページの作成

Web出願サイト

2024年6月17日（月）9:00から公開

- メールアドレスの登録
- 個人情報の登録
- 証明写真（顔写真）の登録



3. 出願登録

Web出願サイト

※入試区分ごとに出願開始日9:00から公開予定

- 入試区分、出願学科・専修等の登録



4. Web志願票の印刷

Web出願サイト

- Web志願票の印刷
- 出願封筒用宛名の印刷



5. 入学検定料の支払い

Web出願サイト

- 入学検定料の支払い

※この段階では、出願はまだ完了していません



6. 出願書類の郵送

- 郵便局窓口から「簡易書留・速達」で郵送

Web出願完了



7. 受験票・受験番号の取得

Web出願サイト

- Web 出願サイト（マイページ）から取得する

※受験票は郵送されません

※試験当日は、必ず印刷した受験票を持参してください

Web出願サイト

詳細は「出願ガイド2025」またはWeb出願サイトのガイダンスページを参照してください。

1. 事前準備

1. パソコン環境の準備

Web出願には、インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット端末等が必要になります。Web出願サイトのガイダンスページで推奨環境を確認してください。

2. プリンターの準備

出願にあたっては、A4用紙で「Web志願票」「出願用封筒宛名」「受験票」を受験者自身で印刷する必要があります。ご使用のパソコンにカラープリンターが接続されていることを確認してください。自宅にカラープリンターがない場合は、学校やコンビニエンスストアのプリントサービス等、PDFファイルを印刷できる環境を確認しておいてください。

3. メールアドレスの準備

マイページの作成にはメールアドレスが必要となります。また、出願の登録確認、入学検定料の入金確認等は全てメールにて送信されます。必ず受信可能な個人用メールアドレスを準備しておいてください。ドメイン指定受信を設定している場合、「@sugiyama-u.ac.jp」を受信できるよう設定してください。また、1つのメールアドレスで複数人の利用はできません。受験者1人に対して、必ず1つのメールアドレスを使用してください。

4. 証明写真（顔写真）データの準備

証明写真（顔写真）は試験当日の本人確認用として使用します。以下の条件を満たす顔写真データ（データ形式：JPEG、100KB以上、5MB以下）を準備してください。証明写真機（写真データのダウンロードや取得ができるもの）、スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能、デジタルカメラ等を使用して撮影したものでも構いません。

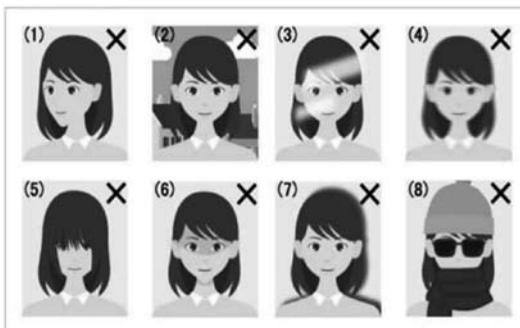
2025年度入試において、既にWeb出願登録が完了した証明写真は、変更することはできません。入学後の学生証写真については、合格後の第2次入学手続（P.21、P.50）で登録する顔写真データで作成します。そこで登録した顔写真データは卒業まで使用します。

- ① 本人のみが写っていること
- ② 直近3か月以内に撮影したもの
- ③ カラー写真（白黒不可）、上半身・正面、無帽、背景なし（白／青／グレー）、枠なし
- ④ 私服または高等学校等の制服

【適切な写真の例】



【不適切な写真の例】



- (1) 正面を向いていない
(顔が横向き等)
- (2) 無背景でない
(風景や柄が写っている)
- (3) 照明が反射している
(顔や眼鏡に光が反射して一部が見えない)
- (4) 手振れやピントがぼけていて不鮮明
- (5) 前髪が長すぎて目元が見えない
- (6) 顔に影がある
- (7) 背景に影が映っている
- (8) サングラスや帽子で輪郭が隠れている

5. 角形2号封筒の準備

出願書類を郵送するために必要です。角形2号サイズ（240mm×332mm）の封筒を準備してください。

6. 出願書類の準備

出願に必要な書類は入試区分により異なりますので、各入試区分の出願書類を確認し、該当する書類を準備してください。

2. マイページの作成

下記URL（Web出願サイト）からマイページを作成してログインし、「2. 個人情報の登録と確認」より個人情報の登録と証明写真（顔写真）の登録を行ってください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-sugiyama/>



※入試情報ページからもアクセスできます。※詳細は「出願ガイド2025」で確認してください。

3. 出願登録

～

5. 入学検定料の支払い

「出願ガイド2025」をご覧ください。

楣大エール割(入学検定料の割引)

初回検定料のみ30,000円（以降+5,000円）

一般入試A・B、大学入学共通テスト利用入試A・B※、総合型選抜（AO選抜）、公募制推薦入試Ⅰ期・Ⅱ期のうち、
1出願目のみ30,000円、2出願目以降は入試区分が変わっても1出願あたり5,000円となります。

※大学入学共通テスト利用入試は初回検定料15,000円

大学入学共通テスト利用入試を初回出願とした場合、一般入試の1出願目の検定料は20,000円

6. 出願書類の郵送

出願書類を市販の角形2号サイズ（240mm×332mm）の封筒に入れ、出願登録完了後にマイページより印刷した「出願用封筒宛名」を封筒に貼付し、郵便局窓口から「簡易書留・速達」で出願期間内に郵送してください。

注意

- 出願後（入学検定料納入後）入試区分、入試日、志望学科・専修、科目、試験会場等の変更は、いかなる理由があっても認めません。
- いたん提出された出願書類は、返還しません。
- 郵便局窓口で発行される書留の「受領書」は、必ず保管してください。

7. 受験票の印刷・受験番号の取得

下記URLからマイページにログインし、「オンライン受験票」より受験票（PDF）の印刷または受験番号の確認をしてください。**受験票の郵送はしません。**

<https://exam-entry.52school.com/sugiyama-u/my>

※入試情報ページからもアクセスできます。

<受験票の発行開始日>

入試区分	発行開始日	
公募制推薦入試Ⅰ期 (教科型・総合型・保育者養成型・学校教員養成型・音楽教員養成型)	2024年11月13日(水)10:00	受験票(要印刷)
公募制推薦入試Ⅱ期(総合型)	2024年12月11日(水)10:00	受験票(要印刷)
一般入試A (3教科型・2教科型・共通テスト併用型)	2025年1月29日(水)10:00	受験票(要印刷)
大学入学共通テスト利用入試A (2教科型・3教科型・5教科型)	2025年1月29日(水)10:00	受験番号の確認のみ
一般入試B (2教科型・共通テスト併用型)	2025年3月3日(月)10:00	受験票(要印刷)
大学入学共通テスト利用入試B (2教科型・3教科型)	2025年3月3日(月)10:00	受験番号の確認のみ

※受験票は2025年3月31日(月)までの公開です。

〈受験票サンプル〉

【受験票】

- (1) 受験票の記載内容を確認し、A4サイズの用紙に印刷のうえ、**試験当日に必ず持参してください。**
- (2) 受験票には裏面も含め、一切の書き込みを禁止します。
- (3) 大学入学共通テスト利用入試は、受験票はありません。受験番号のみ確認できます。

注意

- **出願後（入学検定料納入後）入試区分、入試日、志望学科・専修、科目、試験会場等の変更は、いかなる理由があっても認めません。**

個人情報保護



A4版

出願にあたりご提供いただいた個人情報は、「入試の実施に必要な事務処理」、「本人への問い合わせ」、「入試の合否判定」および「合格発表の通知」ならびに「調査統計」などに利用します。

なお、合格者の個人情報については、入学後の「学籍基本情報」の一部として利用します。また、個人情報の取扱いについては、法令および本学規程等に従い適切に対応いたします。

詳しくは次のURLを参照してください。<https://www.sugiyama-u.ac.jp/gakuen/privacy/>

出身高等学校への入試結果通知

本学では志願者の出身高等学校に対し、入試結果を通知しています。

各高等学校には、個人情報保護への対応としてデータの取扱いについて守秘をお願いし、利用の目的を「進路指導上の資料」に限定したうえで情報を提供しています。この取扱いに承諾しない場合は、出願の際に申請してください。

1

公募制推薦入試Ⅰ期

専願制

堀山女学園大学を第1志望とし、合格後必ず入学することを前提とした入試制度

併願制

他の入試へ志願することも可能な入試制度。本入試に合格した後、所定の手続期間内に手続がない場合、入学の意志がないものとみなします。

1. 募集人員

学部・学科・専修		募集人員				
		教科型		総合型	保育者養成型・ 学校教員養成型	音楽教員養成型
		併願	専願	併願	専願	併願
生活科学部	管理栄養学科	1名	6名	—	—	—
	生活環境デザイン学科	8名	—	4名	—	—
外国語学部	英語英米学科	5名	—	4名	—	—
	国際教養学科	5名	—	3名	—	—
人間関係学部	人間共生学科	3名	—	4名	—	—
	心理学科	3名	—	6名	—	—
情報社会学部	情報デザイン学科	5名	—	4名	—	—
	現代社会学科	5名	—	5名	—	—
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	8名	—	8名	—	—
教育学部	子ども発達学科	2名	—	—	3名	—
	初等中等教育専修	3名	—	—	2名	2名
看護学部	看護学科	4名	5名	—	—	—

※出願状況および試験の成績によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

2. 出願資格

教科型・総合型共通

次のいずれかに該当し、本学における勉学を強く希望する女子に限ります。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を2025年3月卒業見込みの者で、出身の校長が推薦し、第3学年1学期（2学期制の場合は前期）までの全体の学習成績の状況が各学科の定める基準を満たす者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月修了見込みの者で、出身の校長が推薦する者
【注】2学期制の場合は、3年生前期までの全体の学習成績の状況とします(外国の学校)。

公募制推薦入試Ⅰ期(教科型) 学科別の推薦基準

- 生活科学部 管理栄養学科 専願制：3.4以上、併願制：学習成績の状況による推薦基準なし
- 看護学部 看護学科 専願制：3.5以上、併願制：学習成績の状況による推薦基準なし
- その他の学部・学科※ 併願制：学習成績の状況による推薦基準なし

※その他の学部・学科は、生活科学部(生活環境デザイン学科)、外国語学部(英語英米学科、国際教養学科)、人間関係学部(人間共生学科、心理学科)、情報社会学部(情報デザイン学科、現代社会学科)、現代マネジメント学部(現代マネジメント学科)、教育学部(子ども発達学科保育・初等教育専修、子ども発達学科初等中等教育専修)になります。

その他の学部・学科は併願制のみ実施します。

公募制推薦入試Ⅰ期(総合型) 学科別の推薦基準

●生活科学部 生活環境デザイン学科 I期：3.0以上

●外国語学部(英語英米学科・国際教養学科)

次の①、②、③のいずれかの基準を満たす者

①第3学年1学期(2期制の場合は前期)までの全体の学習成績の状況が3.0以上の者

②外国語(英語)の教科の学習成績の状況が3.5以上の者

③実用英語技能検定(英検)準2級以上、GTEC CBT 700点以上、GTEC 検定版 675点以上、TOEIC®L&R 385点以上、TOEIC Bridge®L&R 75点以上、TOEFL iBT®L&R 42点以上、IELTS 3.0以上、TEAP 135点以上、ケンブリッジ英語検定A2Key / A2Key for Schools 120点以上の者

●人間関係学部(人間共生学科・心理学科) I期：3.0以上

または「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語(英語)」のいずれかの教科の学習成績の状況が3.5以上の者

●情報社会学部(情報デザイン学科・現代社会学科) I期：3.2以上

●現代マネジメント学部 I期 3.2以上

公募制推薦入試Ⅰ期(保育者養成型・学校教員養成型) 出願基準・推薦基準

次のいずれかに該当し、本学における勉学を強く希望する女子に限ります。

(1) 高等学校もしくは中等教育学校を2025年3月卒業見込みの者で、出身の校長が推薦する者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月修了見込みの者で、出身の校長が推薦する者

【注】2学期制の場合は、3年生前期までの全体の学習成績の状況とします。(外国の学校)

公募制推薦入試Ⅰ期(音楽教員養成型)

次のいずれかに該当し、本学における勉学を強く希望する女子に限ります。

(1) 高等学校もしくは中等教育学校を2024年3月以降卒業した者または2025年3月卒業見込みの者で、卒業した者は3年間の、卒業見込みの者は第3学年1学期(2学期制の場合は前期)までの全体の学習成績の状況が3.3以上の者で、出身の校長が推薦する者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月修了見込みの者で、出身の校長が推薦する者

【注】2学期制の場合は、3年生前期までの全体の学習成績の状況とします。(外国の学校)

<受験上に配慮が必要な場合の出願について>

出願を希望する方は、2024年10月18日(金)までに入学センターへご連絡ください。受験における配慮申請を行う場合は、医師の診断書等が必要となります。また、期日後の申し出については、受験上の配慮ができない場合があります。

入試相談フリーダイヤル Tel.0120-244-887

平日 9:00～17:00 (土・日・祝日は電話受付をしておりません)

3. 入試日程・入学検定料・試験場

出願期間	郵送 2024年11月1日(金)～11月7日(木) 締切日消印有効 窓口受付 2024年11月7日(木)のみ 9時～17時 入学センター ※Web出願のデータ入力締切 2024年11月7日(木)17時まで		
入学検定料	30,000円(P.6枠大エール割参照)		
受験票の取得	2024年11月13日(水)10:00～(P.7参照)		
試験日および試験時間 ^{*1*2}	2024年11月17日(日)	教科型	入室時間 9:40まで
		総合型	学科による P.12～13 参照
		保育者養成型 学校教員養成型 音楽教員養成型	9:40まで
試験場	教科型：星が丘キャンパス 外国語学部棟 総合型：星が丘キャンパス 生活科学部・外国語学部・情報社会学部・現代マネジメント学部 日進キャンパス ^{*3} 人間関係学部 保育者養成型・学校教員養成型・音楽教員養成型：星が丘キャンパス 外国語学部棟および教育学部棟	5. 出願科目・選抜方法および試験時間P.11～13参照	
合格発表 P.20参照	2024年12月2日(月)10:00		

入 学 手 続 P.21参照	第1次入学手続 (入学金)		200,000円 納付期限 2024年12月6日(金) 15時まで マイページ内入学手続(納付金手続)で支払い
	第2次入学 手続 (書類提出)	専願	郵送 2025年2月27日(木)～3月5日(水) 締切日消印有効 窓口受付 2025年3月6日(木)のみ 9時～15時 入学センター ※第2次入学手続のデータ入力締切 2025年3月5日(水) 17時まで
		併願	郵送 2025年3月12日(水)～3月24日(月) 締切日消印有効 窓口受付 2025年3月25日(火)のみ 9時～15時 入学センター ※第2次入学手続のデータ入力締切 2025年3月24日(月) 17時まで

※1 学部・学科・専修に定められた「出題科目」および「科目選択の方法」に従い、I期(教科型・保育者養成型・学校教員養成型)は試験時間内に2教科2科目を、I期(音楽教員養成型)は試験時間内に1教科1科目を選択し、解答してください。

※2 I期(教科型・保育者養成型・学校教員養成型)については、試験時間内の解答時間配分は自由です。

※3 日進キャンパスへは、星が丘キャンパスの「日進キャンパス行きスクールバス」乗車場からスクールバスを運行します。

[9時00分発 | 9時15分発]

4. 出願書類

以下の書類を簡易書留速達郵便または持参にて提出してください。

簡易書留速達郵便以外(差出記録がない場合)での紛失を理由とした出願締切日以降の出願手続は認めません。

出願書類	教科型	保育者 養成型	学校教員 養成型	音楽教員 養成型	総合型	様式	注意事項
①Web志願票	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Web出願サイトより カラー印刷	A4サイズ 縦1枚に印刷してください。
②学校長の推薦書	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> ※1	本学の所定用紙 Web出願サイトまたは 入試情報ページより印 刷のうえ、提出してく ださい	A4サイズ 高等学校長の推薦印を押 印したもの
③調査書	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	出身学校の所定用紙	厳封のまま提出してく ださい。出願前3か月以内 に発行のもの、1回の出 願につき1通必要です。
④志願理由書	<input checked="" type="radio"/> ※2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	本学の所定用紙 Web出願サイトまたは 入試情報ページより印 刷のうえ、提出してく ださい	A4サイズ 黒のボールペンまたは黒 インク(消せるボールペ ン不可)で、自筆(手書き) のみ可。
⑤音楽活動歴書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	本学の所定用紙 Web出願サイトまたは 入試情報ページより印 刷のうえ、提出してく ださい	4サイズ 客観的資料(パンフレット や賞状)があればその コピーを添付してく ださい。
⑥楽譜のコピー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	任意の様式	すべての楽譜コピー(コ ンコーネを含む)を提出 してください。
⑦資格認定書類の コピー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> ※3	任意の様式	書類はコピー(A4サイズ) を提出してください。

※1 総合型の推薦書は他の入試区分と様式が異なります。推薦理由の記入が必要です。

※2 教科型においては面接試験のある管理栄養学科(併願制)と看護学科(専願制・併願制)のみ必要です。

※3 外国語学部において、推薦基準③に掲載されている資格取得を持って出願する場合は、証明する書類を提出してください。

5. 出願科目・選抜方法および試験時間

I期(教科型)

入学試験における学力の3要素の関係を ◎：特に強く関連している。○：強く関連している。△：関連している。で表示しています。

学部・学科	試験内容	科目選択の方法	配点 2教科 200点	満点	学力の3要素			試験時間
					知識 ・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性・ 多様性・ 協調性	
生活科学部	管理栄養学科 (専願制)	国語	2教科2科目を選択	200点	225点	◎		10:00～12:00
		数学				◎		
		外国語(英語)	—	25点				
		調査書※						
	管理栄養学科 (併願制)	国語	2教科2科目を選択	200点	250点	◎		10:00～12:00
		数学				◎		
		外国語(英語)	—	25点		◎		
		調査書※						
外国語学部	英語英米学科 国際教養学科	面接	—	25点		◎	◎	13:30～隨時終了
		国語	2教科2科目を選択	200点	220点	◎		10:00～12:00
		数学				◎		
		外国語(英語)	—	20点		◎		
		調査書						
人間関係学部	人間共生学科 心理学科	国語	1教科1科目を選択	200点	225点	◎		10:00～12:00
		数学				◎		
		外国語(英語)	必須	25点		◎		
		調査書						
情報社会学部	情報デザイン学科 現代社会学科	国語	2教科2科目を選択	200点	225点	◎		10:00～12:00
		数学				◎		
		外国語(英語)	—	25点		◎		
		調査書						
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	国語	2教科2科目を選択	200点	225点	◎		10:00～12:00
		数学				◎		
		外国語(英語)	—	25点		◎		
		調査書						
教育学部	子ども発達学科	国語	1教科1科目を選択	200点	225点	◎		10:00～12:00
		数学				◎		
		外国語(英語)	必須	25点		◎		
		調査書						
看護学部	看護学科 (専願制)	国語	1教科1科目を選択	200点	250点	◎		10:00～12:00
		数学				◎		
		外国語(英語)	必須	50点		△	◎	13:30～隨時終了
		面接						
	看護学科 (併願制)	国語	1教科1科目を選択	200点	275点	◎		10:00～12:00
		数学				◎		
		外国語(英語)	必須	25点		◎		
		調査書						
		面接	—	50点		△	◎	13:30～隨時終了

[出題科目・範囲]

教科	出題科目・範囲
国語	「現代の国語」「論理国語」
数学	「数学Ⅰ・数学A(图形の性質・場合の数と確率)」
外国語(英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」(リスニングを課さない)

- 解答は全学部マークシート方式で行います。
- 解答科目は当日試験場において選択してください。
- 科目間の問題難易度の差による有利不利をなくすため得点調整を行います。(P.14)

I期（保育者養成型・学校教員養成型・音楽教員養成型）

各学科が指定する試験および出願書類によって選抜します。

入学試験における学力の3要素の関係を ◎：特に強く関連している。○：強く関連している。△：関連している。で表示しています。

学部・学科		試験内容	科目選択の方法	配 点	満 点	学力の3要素			試験時間
						知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協調性	
教育学部	保育者養成型 子ども発達学科 保育・初等教育専修（専願制）	国語	2教科2科目を選択	200点	250点	◎			10:00～12:00
		数学	—	20点		◎			—
		外国語（英語）	—	30点		○	○	○	13:30～随時終了
	学校教員養成型 子ども発達学科 初等中等教育専修（専願制）	国語	2教科2科目を選択	200点	250点	◎			10:00～12:00
		数学	—	20点		○			—
		外国語（英語）	—	30点		○	○	○	13:30～随時終了
	音楽教員養成型 子ども発達学科 初等中等教育専修（併願制）	国語	1教科1科目を選択	100点	200点	◎			10:00～11:00
		数学	—	20点		○			—
		外国語（英語）	—	50点		○	○		—
		実技試験	—	30点		○	○	○	11:40～随時終了
		面接（一般面接、音楽的専門知識を問う面接）	—						

[出題科目・範囲]

教 科	出題科目・範囲
国 語	「現代の国語」「論理国語」
数 学	「数学Ⅰ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）」
外 国 語（英語）	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」（リスニングを課さない）

- 解答は全学部マークシート方式で行います。
- 解答科目は当日試験場において選択してください。
- 科目間の問題難易度の差による有利不利をなくすため得点調整を行います。（P.14）

I期（総合型）

各学科が指定する試験および出願書類によって選抜します。

入学試験における学力の3要素の関係を ◎：特に強く関連している。○：強く関連している。△：関連している。で表示しています。

学部・学科		試験内容	配 点	満 点	学力の3要素			入室時間	試験時間
					知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協調性		
生活科学部	生活環境デザイン学科	調査書	10点	100点	○		○	13:10まで	—
		出願書類	10点		○		○		13:30～随時終了
		ルセーション（5分程度）	40点		△	○			
		面接	40点		△	○	○		
外国语学部	英語英米学科	調査書	25点	200点	○		○	9:40まで	—
		出願書類	25点		○		○		10:00～11:00
		小論文・英語読解テスト	100点		○	○			12:30～随時終了
		面接（日本語）	25点		△	○	○		
	国際教養学科	口頭試問（英語）	25点		○	○			
人間関係学部	人間共生学科 心理学科	調査書	25点	200点	○		○	9:40まで	—
		出願書類	25点		○		○		10:00～11:00
		小論文	100点		○	○	○		12:30～随時終了
		口頭試問（日本語・英語）	50点		△	○	○		
		面接	50点		△	○	○		

学部・学科	試験内容	配 点	満 点	学力の3要素			入室時間	試験時間
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協調性		
情報社会学部	情報デザイン学科 現代社会学科	調査書	25点	200点	○			—
		出願書類	25点		△	○	9:40まで	10:00~11:00
		小論文	100点		○	○		12:30~隨時終了
		面接	50点		△	○		
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	調査書	25点	200点	○	○	9:40まで	—
		出願書類	25点		○	○		10:00~11:00
		小論文	100点		○	○		12:30~隨時終了
		面接	50点		△	○		

6. 選抜方法および評価方法

I期（総合型）

学部・学科	試験内容	評価方法
生活科学部	生活環境デザイン学科	調査書
		出願書類
		プレゼンテーション
		面接
外国語学部	英語英米学科	調査書
		出願書類
		小論文・英語読解テスト
		面接（日本語）
		口頭試問（英語）
人間関係学部	国際教養学科	調査書
		出願書類
		小論文
		口頭試問（日本語・英語）
		日本語で質疑応答を実施し、英語によるコミュニケーション能力を評価します。 (英語の質疑応答も実施します)
情報社会学部	情報デザイン学科 現代社会学科	調査書
		出願書類
		小論文
		面接
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	調査書
		出願書類
		小論文
		面接

I期（保育者養成型・学校教員養成型・音楽教員養成型）

学部・学科	試験内容	評価方法
教育学部	保育者養成型 子ども発達学科 保育・初等教育専修（専願制）	国語
		数学
		外国語（英語）
		調査書
		集団面接

学部・学科		試験内容	評価方法
学校教員養成型 教育学部 音楽教員養成型	子ども発達学科 初等中等教育専修 (専願制)	国語 数学 外国語(英語) 調査書 集団面接	公募制推薦入試Ⅰ期(教科型)と同じ問題を使用し、2教科2科目を採用します。 学習成績の状況を4倍し、得点化します。 学校教育への関心・探究心・意欲、高校までの活動および人物を総合的に評価します。
		国語 数学 外国語(英語) 調査書 実技試験 面接(一般面接、音楽的専門知識を問う面接)	公募制推薦入試Ⅰ期(教科型)と同じ問題を使用し、1教科1科目を採用します。 学習成績の状況を4倍し、得点化します。
	子ども発達学科 初等中等教育専修 (併願制)		以下、「音楽教員養成型(評価方法)」に記載のとおり。

音楽教員養成型(評価方法)

●実技試験

次のABCの中から1つ選択し演奏すること。

選択コース		実技試験内容
A	ピアノ	①5分以上の自由曲1曲(暗譜) ②『コンコネ50番』より1曲(自分で伴奏しながら歌う)
B	声楽	①声楽 2分以上の自由曲2曲(暗譜) ②ピアノ 自由曲1曲(ソナチネ以上)
C	弦楽器または管楽器	①弦楽器または管楽器 5分以上の自由曲1曲(伴奏なし) ②ピアノ 自由曲1曲(ソナチネ以上)

※演奏はすべて繰り返しなし ※監督者の指示で、演奏を途中で打ち切ることもある

※出願時には、志願理由書に演奏曲目を記入すること

※出願時にすべての楽譜を送付すること

※C選択者は、楽器を持参すること

●面接

個人面接を実施します。学校教育への関心・探究心・意欲、高校までの活動および人物を総合的に評価します。また、音楽的専門知識を問う面接の出題範囲は以下のとおりです。

①音程、②音階、③和音、④楽語(強弱記号・速度記号・発想記号)、⑤音楽の一般知識

7. 得点調整について(教科型・保育者養成型・学校教員養成型・音楽教員養成型)

国語、数学、外国語(英語)の科目間の問題難易度の差による有利不利をなくすため得点調整を行います。

〈中央値補正法について〉

「中央値補正法」とは、各科目の成績順で真ん中の順位の人の点数を50点に置き換え、他の人の点数を調整するものです。以下の表の例では、国語と数学で23.4点あった平均点の差が、得点調整を行うことで4.6点にまで縮まっています。100点と0点の人は、素点のままで、調整は行いません。

席次	素点		補正点		中央値補正法の計算式
	国語	数学	国語	数学	
1	100.0	100.0	100.0	100.0	⇒ ① 素点 ≥ 中央値(真ん中の順位の点数) のとき $\frac{\text{満点の半分の点数}}{\text{満点} - \text{中央値}} \times (\text{素点} - \text{中央値}) + (\text{満点の半分の点数})$
2	85.0	55.0	75.0	62.5	
3	80.0	50.0	66.7	58.3	
4	75.0	45.0	58.3	54.2	
5	70.0	40.0	50.0	50.0	
6	65.0	35.0	46.4	43.8	
7	60.0	30.0	42.9	37.5	
8	55.0	25.0	39.3	31.3	
9	0.0	0.0	0.0	0.0	
平均点	65.6	42.2	53.2	48.6	

得点差23.4点

得点差4.6点

2

公募制推薦入試Ⅱ期（総合型）

1. 募集人員

学部・学科・専修		募集人員
外 国 語 学 部	英 語 英 米 学 科	3名
	国 際 教 養 学 科	2名
人 間 関 係 学 部	人 間 共 生 学 科	3名
	心 理 学 科	4名
情 報 社 会 学 部	情 報 デ ザ イ ン 学 科	4名
	現 代 社 会 学 科	5名
現 代 マ ネ ジ メ ン ト 学 部	現 代 マ ネ ジ メ ン ト 学 科	8名

※出願状況および試験の成績によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

2. 出願資格

次のいずれかに該当し、本学における勉学を強く希望する女子に限ります。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を2025年3月卒業見込みの者で、出身の校長が推薦し、第3学年1学期（2学期制の場合は前期）までの全体の学習成績の状況が各学科の定める基準を満たす者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月修了見込みの者で、出身の校長が推薦する者
【注】2学期制の場合は、3年生前期までの全体の学習成績の状況とします。（外国の学校）

公募制推薦入試Ⅱ期（総合型） 学科別の推薦基準

●外国語学部（英語英米学科・国際教養学科）

次の①、②、③のいずれかの基準を満たす者

①第3学年1学期（2期制の場合は前期）までの全体の学習成績の状況が3.0以上の者

②外国語（英語）の教科の学習成績の状況が3.5以上の者

③実用英語技能検定（英検）準2級以上、GTEC CBT 700点以上、GTEC 検定版 675点以上、TOEIC®L&R 385点以上、TOEIC Bridge®L&R 75点以上、TOEFL iBT®L&R 42点以上、IELTS 3.0以上、TEAP 135点以上、ケンブリッジ英語検定A2Key / A2Key for Schools 120点以上の者

●人間関係学部（人間共生学科・心理学科） II期：3.0以上

または「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語（英語）」のいずれかの教科の学習成績の状況が3.5以上の者

●情報社会学部（情報デザイン学科・現代社会学科） II期：3.2以上

●現代マネジメント学部 II期：3.2以上

<受験上に配慮が必要な場合の出願について>

出願を希望する方は、2024年11月15日（金）までに入学センターへご連絡ください。受験における配慮申請を行う場合は、医師の診断書等が必要となります。また、期日後の申し出については、受験上の配慮ができない場合があります。

入試相談フリーダイヤル Tel.0120-244-887

平日 9:00～17:00（土・日・祝日は電話受付をしておりません）

3. 入試日程・入学検定料・試験場

出願期間	郵送 2024年12月2日(月)～12月6日(金) 締切日消印有効 窓口受付 2024年12月6日(金)のみ 9時～17時 入学センター ※Web出願のデータ入力締切 2024年12月6日(金) 17時まで	
入学検定料	30,000円 (P.6 暫大工ール割参照)	
受験票の取得	2024年12月11日(水) 10:00～(P.7参照)	
試験日および試験時間	2024年12月14日(土)	
試験場	総合型: 星が丘キャンパス 外国語学部・情報社会学部・現代マネジメント学部 日進キャンパス※ 人間関係学部	
合格発表 P.20参照	2024年12月19日(木) 10:00	
入学手続 P.21参照	第1次入学手続 (入学金)	200,000円 納付期限 2025年1月6日(月) 15時まで マイページ内入学手続(納付金手続)で支払い
	第2次入学手続 (書類提出)	郵送 2025年3月12日(水)～3月24日(月) 締切日消印有効 窓口受付 2025年3月25日(火)のみ 9時～15時 入学センター ※第2次入学手続のデータ入力締切 2025年3月24日(月) 17時まで

※ 日進キャンパスへは、星が丘キャンパスの「日進キャンパス行きスクールバス」乗車場からスクールバスを運行します。

9時00分発 | 9時15分発

4. 出願書類

以下の書類を簡易書留速達郵便または持参にて提出してください。

簡易書留速達郵便以外(差出記録がない場合)での紛失を理由とした出願締切日以降の出願手続は認めません。

出願書類	様式	注意事項
① Web志願票	Web出願サイトよりカラー印刷	A4サイズ 縦1枚に印刷してください。
② 学校長の推薦書	本学の所定用紙 Web出願サイトまたは入試情報ページより印刷のうえ、提出してください	A4サイズ 高等学校長の推薦印を押印したもの
③ 調査書	出身学校の所定用紙	厳封のまま提出してください。出願前3か月以内に発行のもの、1回の出願につき1通必要です。
④ 志願理由書	本学の所定用紙 Web出願サイトまたは入試情報ページより印刷のうえ、提出してください	A4サイズ 黒のボールペンまたは黒インク(消せるボールペン不可)で、自筆(手書き)のみ可。
⑤ 資格認定書類のコピー※	任意の様式	書類はコピー(A4サイズ)を提出してください。

※外国語学部において、推薦基準③に掲載されている資格取得を持って出願する場合は、証明する書類を提出してください。

5. 選抜方法および試験時間

Ⅱ期（総合型）

各学科が指定する試験および出願書類によって選抜します。

入学試験における学力の3要素の関係を ○：特に強く関連している。○：強く関連している。△：関連している。で表示しています。

学部・学科	試験内容	配 点	満 点	学力の3要素			入室時間	試験時間
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協調性		
外 国 語 学 部	英語英米学科	調査書	25点	200点	○		○	— 10:00～11:00 11:30～随時終了
		出願書類	25点		○		○	
		小論文・英語読解テスト	100点		○	○		
		面接(日本語)	25点		△	○	○	
		口頭試問(英語)	25点		○	○		
	国際教養学科	調査書	25点	200点	○		○	— 10:00～11:00 11:30～随時終了
		出願書類	25点		○		○	
		小論文	100点		○	○	○	
		口頭試問(日本語・英語)	50点		△	○	○	
		面接						
人間関係学部	人間共生学科 心理学科	調査書	25点	200点	○			— 10:00～11:00 11:30～随時終了
		出願書類	25点		○	○	○	
		小論文	50点		○	○		
		面接	100点		△	○	○	
情報社会学部	情報デザイン学科 現代社会学科	調査書	25点	200点	○			— 10:00～11:00 11:30～随時終了
		出願書類	25点		△		○	
		小論文	100点		○	○		
		面接	50点		△	○	○	
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	調査書	25点	200点	○		○	— 10:00～11:00 11:30～随時終了
		出願書類	25点		○		○	
		小論文	100点		○	○		
		面接	50点		△	○	○	

6. 選抜方法および評価方法

Ⅱ期（総合型）

学部・学科	試験内容	評価方法
外 国 語 学 部	英語英米学科	調査書 学習成績の状況を5倍し、得点化します。
		出願書類 志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。
		小論文・英語読解テスト 英語の文章を読み、理解する能力を評価します。
		面接(日本語) 学科での学びとの適合性、関心、学習意欲、思考力等を総合的に評価します。
		口頭試問(英語) 英語で質疑応答を実施し、英語によるコミュニケーション能力を評価します。
	国際教養学科	調査書 学習成績の状況を5倍し、得点化します。
		出願書類 志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。
		小論文 学科に適合する知識や思考力を測る小論文を実施し、評価します。
		口頭試問(日本語・英語) 日本語で質疑応答を実施し、コミュニケーション能力を評価します。 (英語の質疑応答も実施します)
人間関係学部	人間共生学科 心理学科	調査書 学習成績の状況を5倍し、得点化します。
		出願書類 志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。
		小論文 学科に適合する知識や思考力を測る小論文の試験を実施し、評価します。
		面接 学科での学びへの関心、学習意欲、思考力等を総合的に評価します。
情報社会学部	情報デザイン学科 現代社会学科	調査書 学習成績の状況を5倍し、得点化します。
		出願書類 志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。
		小論文 学科に適合する知識や思考力を測る小論文の試験を実施し、評価します。
		面接 学科での学びへの関心、学習意欲、思考力等を総合的に評価します。
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	調査書 学習成績の状況を5倍し、得点化します。
		出願書類 志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。
		小論文 問題で示された現代社会に関する新聞記事・コラム・データ等について、自らの分析・見解、考え方、主張などを論述してもらい、その問題意識、分析内容、論理性等について総合的に評価します。
		面接 学科での学びへの関心、学習意欲、思考力等を総合的に評価します。

3

出願上の注意

1. 出願書類の提出方法

出願用封筒を提出の際には、Web 出願サイトより出願用封筒宛名を出力し市販封筒角 2 型に貼付し、簡易書留速達で郵送するか、入学センター窓口へ提出してください。

簡易書留郵便以外（差出記録がない場合）での紛失を理由とした出願締切日以降の出願手続きは認めません。

2. Web 志願票登録上の注意（詳細については「出願ガイド 2025」をご覧ください）

(1) 共通する事項

- ①出願（郵送・窓口提出）後の出願内容はいかなる理由があっても変更はできません。
- ②氏名は、「住民票」の氏名を登録してください。外国籍の方で、入学後も通称名の使用を希望する場合は、「住民票」記載の通称名を登録してください。
- ③連絡先（郵便番号、住所、電話番号）は、電話等による連絡が可能な住所または居所を登録してください。
- ④日付はすべて西暦で登録してください。
- ⑤学校名欄には出願資格に該当する学校を登録してください。
- ⑥Web 志願票等の出願書類は A4 サイズでカラー印刷してください。

(2) 出願後の変更事項について

出願した後に、氏名、住所、電話番号などに変更があった場合は、入学センターまで連絡してください。

(3) Web 志願票と他の書類の登録内容に不一致がある場合について

Web 志願票の登録内容と他の書類に不一致（志願者連絡先等）がある場合は、Web 志願票を正として受理しますので、登録の際には十分注意してください。

(4) 出願書類の姓名が現在の姓名と異なる場合について

任意の様式で、変更の理由を記載したものを出願書類とともに提出してください。
場合によっては、証明する書類の提出を依頼することがあります。

3. 受験票等への氏名・住所の表記について

氏名のうち電算処理で表記できない文字については、文字が置き換えられるか、カタカナで表記される場合があります。また、住所についても一部カタカナ表記される場合がありますが、これらは登録の誤りではありません。

4. 個人情報保護について

出願にあたりご提供いただいた個人情報は、「入試の実施に必要な事務処理」、「本人への問い合わせ」、「入試の合否判定」および「合格発表の通知」ならびに「調査統計」などに利用します。

なお、合格者の個人情報については、入学後の「学籍基本情報」の一部として利用します。また、個人情報の取扱いについては、法令および本学規程等に従い適切に対応いたします。

詳しくは以下の HP をご参照ください。

<https://www.sugiyama-u.ac.jp/gakuen/privacy/>

4

受験上の注意

1. 受験票について

マイページメニューの「オンライン受験票」から、A4 サイズの用紙に印刷したものを必ず持参してください。
P.7 を参照してください。

2. 試験当日の注意

- (1) 試験会場は入室時間より 30 分前から入場することができます。
- (2) 時間には十分余裕をもって来学するようにしてください（公共交通機関の障害、天候等による理由の場合は、特別の措置をとることがあります）。
- (3) 試験開始の前に、出欠の確認を行います。入室時間までに集合してください。遅刻したときには直ちに係員に申し出てください。
- (4) 試験開始時刻より、30 分以上遅刻した場合は受験できません。

3. 試験当日の試験場への入退場について

- (1) 試験中の途中退場はできません。
- (2) 受験者以外の方は、試験が実施される校舎への入場ができません。保護者控室を用意します。

4. 筆記用具等について

- (1) 試験内容に従って、筆記用具等 必要なものを用意してください。
- (2) 筆記試験中、机の上に置けるものは、次のとおりです。
 - ・黒鉛筆（H, F, HB に限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル（メモや計算に使用する場合のみ可、黒い芯に限る）
 - ・プラスチック製消しゴム
 - ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）
 - ・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）
 - ・眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋または箱から取り出したもの）
- (3) 試験室において、携帯電話等の電子機器類は、必ずアラームの設定を解除してから電源を切り、かばん等にしまってください。

5. 上履きについて

試験室への入室にあたり、上履きを用意する必要はありません。

6. 飲食について

飲食等を必要とする受験者は、各自用意するようにしてください。飲食をする際は、係員の指示に従ってください。
学内の食堂、売店は営業しておりません。

7. 試験当日の駐車場について

試験場には駐車場がありませんので、電車・バス等の公共交通機関を利用してください。

8. 試験場の下見について

試験の前日まで校舎の確認はできますが、試験室の下見はできません。

5

合格発表について

合格発表

1. 合否結果は、合格発表当日10：00から、マイページ上で発表します。
2. 合否に関する書類の発送は行いません。
3. 合格した場合、合格通知書・その他の案内書類はマイページよりダウンロードしてください。
4. サービス開始直後はアクセスが多く、つながりにくい状態が予想されます。その場合は、しばらく時間をおいてからアクセスしてください。
5. 合否照会の「誤操作」「見間違い」などを理由とした、入学手続締切後の入学手続は認めません。
6. Web出願システムのマイページログイン用「メールアドレス」「パスワード」が必要となります。

URL

<https://exam-entry.52school.com/sugiyama-u/my>



6

入学手続について

1. 入学手続

入学手続は、第1次入学手続と第2次入学手続による2段階方式となります。入学手続の期日は厳守してください。各期の所定の期日までに入学手続が完了しない場合、入学を許可しません。

●第1次入学手続（入学金の納付）

200,000円

合格発表後、所定の期日までに入学金を納付してください。

※一旦納付された入学金は、いかなる理由においても返還しません。

●第2次入学手続（学籍基本情報の登録・必要書類の提出）

所定の期日までにマイページから学籍基本情報を登録のうえ、本学が指定する書類を「簡易書留速達」にて郵送、または窓口へ持参してください。

【注意】

第1次入学手続と第2次入学手続の両手続を行うことによって入学手続の完了となります。

第1次入学手続期間と第2次入学手続期間は手続時期が異なりますのでご注意ください。

2. 入学金の振替

異なる入試区分で複数の学科にわたって合格した場合、重複して入学金を納付することがないよう、入学金の振替を受け付けています。

3. 入学検定料の返還について

一旦納付された入学検定料は、原則として返還しませんが、出願しなかった場合または二重に納付した場合に限り、返還請求ができます。

該当する方は必ず入学センターへ事前連絡のうえ、本学指定の書式にて簡易書留速達で送付してください。なお、期日までに書類の提出がない場合は、返還請求がなかったものとして取り扱います。

返還請求期日：入試区分により異なる（請求書式に掲載されている返還請求期日を参照してください）

返還予定期：2025年3月末

請求書式：「入試情報ページ」内の学生募集要項・全入試区分共通 参照

<https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/admissions/download.html>

【注意】2025年3月上旬までに確認文書を返送しますので、万が一届かない場合は2025年3月7日（金）まで入学センターまで連絡してください。

事前連絡および提出先：〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17-3

桜山女学園大学 入学センター（0120-244-887）

4. 入学の辞退について

第2次入学手続を完了した後、やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、入学センターまでご連絡ください。

その後、入学辞退届を任意様式で作成のうえ、2025年3月31日（月）入学センター必着でお送りください。



推薦入試問題

2024

〈実施した入試問題のみ掲載〉



公募制推薦入試Ⅰ期・Ⅱ期（総合型）

■外国語学部

英語英米学科（小論文・英語読解テスト）	23
国際教養学科（小論文）	23

■人間関係学部

人間共生学科・心理学科（小論文）	24
------------------	----

■情報社会学部

現代社会学科（小論文）	25
-------------	----

■現代マネジメント学部

現代マネジメント学科（小論文）	25
-----------------	----

外国語学部 英語英米学科 小論文・英語読解テスト

公募制推薦入試 I 期

問題

以下の英文を読み、和製英語表現がもたらす混乱や誤解について日本語で詳しく説明してください。解答用紙に記入してください。

Japanese people seem to be quite good at coining their own original English expressions. However, this so-called "Japanese-English" can often be a seed of confusion and misunderstanding in communication with native English speakers. The use of "my such-and-such" is a good example. People in Japan frequently use English expressions such as "my car", "my home", "my cup", "my bag", "my pace", "my number", and so on.

There is nothing wrong with these expressions when used correctly. In the case where the speaker is talking about their own car, for example, this is fine. If, however, the speaker were talking about someone else's car, this would be incorrect. Here is an example. "Do you have my car?" In Japanese English, the speaker probably means, "Do you have your own car?" If a native English speaker hears the question, they will understand it to mean that the speaker (A) is asking if the other person (B) has A's car. B seems to wonder if B has taken A's car. The correct question is, "Do you have your own car?" The same can be said about any Japanese-English expression using "my...". Here is another example. "My grandma is highly conscious of global warming. She thinks it quite important for each one of us to do what we can to reduce emissions of carbon dioxide in our daily life. She always carries my bag when she shops at a grocery store." The last sentence should be, "She always carries her own bag when she shops at a grocery store."

The use of "my such-and-such" is so common in Japan, even the Japanese government has fallen into using it incorrectly. In Japan's bureaucracy, the expression "My Number" has been used in recent years. This is the official name of *kojin bangō*, which means "personal number". Even though My Number is simple and easy to remember, it would be incorrect to ask someone, "Do you know My Number?" It would also be strange to ask, "Do you know your My Number?" However, it seems we may be stuck with this expression.

(出典: Mark Thompson『Say It Right in English 2 ネイティブが気になる日本人の英語 2』より)

-1-

(2024SA-G-1)

公募制推薦入試 II 期

2024年度 桜山女学園大学

外国語学部 英語英米学科

公募制推薦入試 II 期(総合型)「小論文・英語読解」試験

問題

次の英文を読み、その内容をふまえて、多様な背景を持つ人によって構成される地球社会において、英語が果たす役割はどのようなものか記述しなさい。(日本語で800字から1000字)

The 20th century was marked by two world wars and the restoration of independence for many nations after a period of colonialism and imperialism. Thus, autonomy, liberation and independence became human and societal aspirations. Late in the century, it was also the age of the Internet, when new industries and jobs in computers, electronics and finance were created, and when the automation of manual tasks accelerated.

OECD, 'OECD FUTURE OF EDUCATION AND SKILLS 2030', 2019,

外国語学部 国際教養学科 小論文

公募制推薦入試 I 期

2024年度 桜山女学園大学

外国語学部 国際教養学科

公募制推薦入試 I 期(総合型)「小論文」試験

問題

次の文章を読み、800字から、1000字以内で、国際理解や異文化理解を促すためのもっともよい方法を一つ取り上げ、意見を記してください。

ヨーロッパを中心に、各地に伝わる19世紀の日本コレクションは少なくないが、私たちは、この中で、あえてシーボルトのコレクションに注目した。

ドイツ人医師、フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト(Philip Franz von Siebold, 1796-1866)は、前近代の日本を訪れた外国人の一人として、国内では大変有名な人物である。彼に関する本は多数出版され、後に日本初の女医となった彼の娘いねにに関する物語が小説やテレビドラマなどにあげられるなど、広く親しまれている。また彼の日本研究におけるさまざまな功績や、膨大なコレクションに関しては、関連する各分野による多くの研究の蓄積があり、関係する展覧会も盛んに開催してきた。しかし、実のところ、シーボルト関係資料は、彼が助手の力を借りながら収集した日本の民俗資料や美術工芸品・書籍などから、植物・動物標本、彼自身や弟子たちの手による書簡・草稿・記録、画面に描かせたスケッチにいたるまで多岐にわたり、現在ではオランダやドイツ、イギリスほか複数の所蔵者のものと分離して所蔵されているため、一般に知られているのは全体のごく一部である。五大陸博物館が所蔵するシーボルトの第2次コレクション(2度目の来日時の収集品)も、これまで本格的な調査はおこなわれたことがなく、一部の資料を除いて、紹介される機会を得られずにいた。そこで、歴博のチームは、五大陸博物館と共同で、このコレクション全体の詳細な調査をおこなうことにしてきたのである。

(日高薫 「シーボルトが伝えようとした日本像を求めて」『異文化を伝えた人々 III』国立歴史民俗博物館編より)

1

公募制推薦入試 II 期

2024年度 桜山女学園大学

外国語学部 国際教養学科

公募制推薦入試 II 期(総合型)「小論文」試験

問題

次の文章の例を読み、800字から、1000字以内で、異文化理解には、どのような視点が必要か、自分の意見を記してください。

日本はヨーロッパにとって大変親しみやすく近い存在であると同時に、いつまでたっても理解できない非常に遠い国でもある。そしてこの矛盾を極めた日本观は、日本が余所から見て納得しがたい急速な近代化を経て工業化された近代国民国家として、先進国の仲間入りに成功した現時点で生まれたのではなく、むしろヨーロッパと日本との両文化が初めて出会った16世紀、室町時代末期まで遡ることができるのではないか、と私は考えている。

西洋の人間が初めて日本に渡来したとき、ここでヨーロッパと非常によく似ている封建体制と出会った。また日本はヨーロッパとほぼ同じ頃、大航海時代に入りて、博多や堺の自由都市では富豪の貿易商人がヨーロッパのパラックに通じる茶の湯、歌舞伎を中心とした新しい生活文化を発展させた。また思想史の面では、宗教革命と日本での一向宗あるいはカトリックの宣教活動とを比べることができる。

ところが、ヨーロッパのほうでは30年戦争、80年戦争の動乱が引きりなしに続き、オスマン・トルコ帝国の恐怖や各国内での魔女狩とベストの流行等で、文化の発展は様々な妨げを受けたのにに対して、日本は諸外国との交際を自発的に制限したが、江戸前期には、徳川幕藩体制のもとで、あらゆる分野で飛躍的な進歩をみることができた。それに驚いたヨーロッパ人は、その原因を究明することができず、「あらゆる技術を発明し、発展させてきた」「實に知恵に富んだ」「嘘も殺人罪も知らない」日本人を、昔の道徳を忘れ、いや捨ててしまったヨーロッパ人に一つの模範として紹介した。

(『ケンペルのみた日本』より)

1

公募制推薦入試Ⅰ期

問題 次の文章を読み、下記の間に答えなさい。

あの言葉に教わられたという経験はおそらく誰にでもあるだろう。言葉が癒しの力をもつことは誰でも経験的知っている。一方で、言葉が時として人を傷つけるものであることもわれわれは知っている。誰かの心ない一言に傷ついた経験、その傷を抱えながらいつかそれが癒えるのを待った経験もおそらく誰にでもあるはずである。言葉は人を傷つけもすれば癒しもある。では、なぜ、言葉はそのような力をもつのか。

言葉は世界をつくる。それがこの問い合わせに対する端的な回答である。われわれは言葉を頼りにして自分が置かれた現実を理解している。たとえば、誰かの厳しい言葉に接すると、自分が何かまずいことをしたのか、あるいは、自分のせいではなく相手に相手の機嫌が悪いだけなのかななど思いを巡らす。前者であれば、自分が何かまずいことをしたという現実が構成され、後者であれば、特に自分に落ち度はなく相手がたまたま機嫌が悪いだけだという現実が構成される。われわれは言葉を頼りにして、現実を解釈し構成している。もちろん、言葉だけでなく、相手の表情や態度といった非言語的な要素も重要な役割を果たす。それらが総合的に判断されて現実は構成されるのだが、言葉には言葉だけがもつ特権的な力がある。それは、現実を定義する力である。

たとえば、親が子どもに、「おまえはなんて意志が弱いのだ」と言ったとしよう。子どもは、その言葉を聞いて自分は意志が弱いのだと思うようになる。子どもは親と比べて圧倒的に経験も知識もすくない。そもそも、「意志が弱い」とはどのような状態を指すのかもよくわかっていない。そうした状況で、親の言葉は現実を定義する強い力をもっている。もちろん、子どもも思春期ぐらいになるとそれなりの経験や知識が身についてきて、そうした親の定義を跳ね返し、自分なりの定義ができるようになる。このように考えると、反抗期とは言葉による現実定義能力の成長の証しと考えることもできる。優位な立場に立つ者の言葉は一般に現実を定義する力をもっている。言葉は社会的地位や立場と結びつくことでより大きな力を発揮する。

言葉のもつ力でもうひとつ忘れてならないのは、数多くの出来事をまとめる力である。個々の出来事においては、その時の感情など非言語的因素がからまっている。

-1-

(2024 JH-G-1)

て、ひとつの言葉ではうまく表せないような場合でも、振り返ってみてそれを総括するとき、そこにひとつの意味が与えられる。たとえば、うまくいかないことが続いた日々を思い出して、あれは「不運」だったと考えるか、「試練」だったと考えるかで過去の意味は変わってくる。このとき、個々の出来事に伴う細かな差異は捨象されて、大括りの意味が与えられ、雑然とした出来事の羅列がひとつの引き出しに整理される。これも、言葉のもつ定義能力の一例と考えることもできるが、個別の定義ではなく、複数の出来事をまとめる力として区別しておこう。

(出典：野口裕二『ナラティヴと共同性：自助グループ・当事者研究・オープンダイアローグ』青土社より)

問1 答者は言葉が人を癒したり、傷つけたりする理由について、どのように理解しているか。70字程度でまとめなさい。

問2 答者の理解をふまえ、言葉の癒しの力に関するあなたの考えを800字以内で述べなさい。

(2024 JH-G-2)

-2-

公募制推薦入試Ⅱ期

問題 次の文章を読んで、以下の問1と問2に答えなさい。

読書力があるということは、食べるということになぞらえて言えば、強い歯や頭を持っているということにある。硬い食物は、成長期に歯や頭を鍛える。そして鍛えられた歯と頭でその後の人生を生き抜いていく。軟らかいファーストフードばかりを食べていれば、歯や頭の発達は妨げられる。その後の栄養摂取にマイナスの影響を与える。これと同じことが読書においても起こっている。

硬い内容の本は敬遠され、アニメやゲームといった、軟らかい、自力で消化することを求める食べ物へと向かう傾向は加速している。読書をするための歯や頭が鍛えられないまま成人するということは、日本ではむしろ一般的だ。アニメは、硬い読書と比較すれば、スープにあたるだろう。マンガはスナック菓子だ。最近は、マンガにおいても活字の多いものはあまり人気がなくなっている。

ある実務学校（かつての教護院）の指導者の方々の話によると、その施設に入っている中学生たちは、本を読む習慣がほとんどない。マンガを読んでいるのを見て、非常に速い速度で頁をめくるので、はじめはすごいと思っていたが、よく見ていると活字を読んでいないことに気がついた。少年たちによれば、面倒くさいということだ。

読書の歯や頭は、鍛えられるべき成長期に鍛えられておくことで、一生の宝になる。児童文学は、いわば離乳食である。もちろん質の高い児童文学はある。質の問題ではなく、読みやすさという点で、児童書は離乳食だ。この離乳食としての児童文学は必要なものだ。そこで吸収される栄養は、豊富なものである。しかし、ここでの段階をいくら繰り返していても、必ずしも歯や頭が強くなるとは限らない。離乳食止まりという人も出てきかねない。

次にステップとして、推理小説や歴史小説、エンターテインメントもの、雑誌やショートストートなど、わかりやすく読みやすい読書がある。これはいわば乳歯レベルの読書だ。内容がそもそも読み手が楽しめるようにできている。読んでためになる、あるいは読んで自分が成長するといった観点とは別に、おもしろいことが最先端される。おもしろく読みやすい乳歯レベルのものを読むことで、字には慣れていくが、だからといって本格的な読書に行く保証はない。これはいわば「エンター

2024 JH-H-1

-1-

テインメントの溝」だ。

從来は、この乳歯レベルのものと本格的な読書が混同されてきた。本を読んでいるといつても、「自分をつくる」、「自分を鍛える」といった観点での、読む本の質が問題なのである。大学生にブックリストを作成させると、推理小説やSF小説だけでリストを埋める学生が何人も出てくる。これは、乳歯レベルの読書において循環し続けてしまっている状態だ。三十代、四十代の大人でも、このレベルの読書に留まっている人も多い。読書好きの大入の人にも、読書力の観点をもってもらいたいと思う。

この次の段階に、永久歯の読書がある。歯が生え替わる読書ということだ。高校生のときなどに、太宰治や坂口安吾の作品にはまることがある。これはちょうど歯の生え替わりだ。井上靖やハッセモ、この永久歯への生え替わりに貢献している作家だ。少し硬くてまじめだが、栄養があって、慣れてくるとおもしろい。心地よい精神の緊張が味わえる。そうした新しい感覚を味わわせてくれるのが、永久歯レベルの読書だ。

先ほどの「エンターテインメントの溝」を乗り越えて行く架け橋になる読書が、読書力の形成にとっては決定的に重要な役割を果たす。児童文学を読む読まないがその後に決定的な影響を与えるというよりは、この歯が生え替わる読書をするかどうかが、その後の人生の読書習慣にとって大きな影響を与えると、私は考えている。たとえ子ども時代にそれほどの読書をしていなくても、中高生時代に適切なきっかけがあり、大人の読書へ踏み込めば、後は問題なく進んでいくということはよくある。

(出典：齋藤孝『読書力』岩波新書 より)

問1 著者は読書力の成長段階について、食物と歯を用いた例えを利用して説明している。著者は読書力の成長段階それぞれについて、どのように説明しているか。400字以内でまとめて記述せよ。

問2 現時点におけるあなたの読書力は、著者の成長段階分類に従うとどの段階にあるとあなたは考えるか。その根拠を上げつつ記述せよ。またそれを踏まえて、今後あなたの読書力を一層伸ばしていくためにはどうすればよいと考えるか。400字以内で具体的に記述せよ。

-2-

2024 JH-H-2

公募制推薦入試Ⅰ期

問題

新型コロナウィルスの感染拡大により、日本各地の観光地は深刻な影響を受けたが、徐々に回復し始めている。今後日本の観光地が活性化していくためには、どのような取り組みが必要であると考えられるだろうか。あなた自身の考えを 800 字以内で説明してください。

-1-

(2024WH-G-1)

問題

現在の日本には様々な社会的課題が存在している。このような社会的課題の中からあなた自身が関心を持っているものを 1つ取り上げて、その課題を解決することがなぜ重要なのかという点について 800 字以内で説明しなさい。

-1-

(2024WH-H-1)

公募制推薦入試Ⅰ期

問題 次の文章を読んで設問に答えよ。

多くの経済学研究が、長時間労働による賃金プレミアムと性別役割分業の影響に焦点を当てている。長い時間働くほど、必要に応じて夜間や休日など通常の営業時間外に働くほど、単位時間あたりの賃金は高くなる傾向がある。この長時間労働プレミアムが男女賃金格差を作り出す大きな要因だとする主張は、いくつかの研究で支持されている。

男性は長時間労働プレミアムが発生する仕事に就きやすいのに対し、女性は家庭での負担が大きいため格差が生じる。欧米と比べて職が標準化されていない日本企業は属人的な業務の進め方が多く、長時間労働に対する賃金プレミアムが発生しやすいと考えられる。

男女の違いが特に顕著に表れるのが出産直後だ。多くの女性は出産・育児を機に「マミートラック」、すなわち家庭との両立はしやすいものの界隈・昇格からは縁遠いキャリアコースに移る。出産や育児による所得の低下は「チャイルドペナルティ」と呼ばれる、日本は特に大きい。

女性に家事・育児の多くの負担が集中する現状を変えるには「男性が外で働き、女性が家庭を守るべきだ」という性別役割分業意識の変化を後押しする必要がある。政府は子育て世代が安心して育児休業を取得できる環境を整備すべきだ。そのためには男性の育児休業取得率や育児休業取得期間も開示を義務付け、新たに「育児休業取得者と未取得者の昇進率の差異」を男女別に把握するよう求めることも必要だろう。(中略)

また近年の社会科学研究は、社会的な性差に対する固定概念やそれによる差別や偏見などが男女格差形成に寄与してきたことも明らかにした。こうしたジェンダーバイアスの原因は「統計的差別」と「ジェンダーステレオタイプ」だ。

ある属性グループの過去の平均的特徴に基づき、個々の構成員の特徴を予想して行動することを統計的差別と呼ぶ。「女性は男性より仕事を辞める可能性が高い」という前提のもと、管理職が成長につながる研修や挑戦しがいのあるプロジェクトの機会を女性ではなく男性に優先的に与えるといった行動を指す。

一方、「男性はリーダーを、女性はアシスタントを務めるのがふさわしい」とい

(2024PH-G-1)

-1-

ったある属性に対する思い込みをジェンダーステレオタイプと呼ぶ。多くの人は、男性と女性がそれぞれそうした思い込みに合致する行動をとることを無意識に期待している。それにそぐわない「強いリーダーシップを持つ女性」は、社会から好意的に扱われず、低く評価される傾向にある。

本気で男女格差の解消に取り組むには、データ活用を進めて、人材育成・待遇のどの段階で男女格差が広がっているのかを理解する必要がある。例えば採用時の基準は男女で同じか、チャイルドペナルティーはどの程度存在するか、職種・職域ごとの男女構成比にどの程度差が生じているか、男女の昇進・昇格率に差が生じるのはいつか、男女間の労働時間の差異はどの程度存在するか、業務配分、目標の難易度、研修参加率、異動・転勤・海外勤務・出向などにどの程度男女差が生じているか、などだ。

まずは重要と思われる把握項目を特定し、モニタリング（監視）していくことが実効ある施策の策定に欠かせない。こうしたデータは、気づきを与え、取り組みの効果検証にも有用だ。

（出典：日本経済新聞「ジェンダー格差是正への道筋（中）情報開示とデータ活用が鍵」2022年12月16日付朝刊33ページ）

問1 上記の資料を踏まえ、長時間労働プレミアム、チャイルドペナルティー、性別役割分業意識、ジェンダーバイアスなどの観点から、男女格差が生じた原因を説明せよ。（400字以内）

問2 男女格差を縮小するためにどのような取組みが必要なのかについて、あなたの意見も含めて述べよ。（400字以内）

-2-

(2024PH-G-2)

公募制推薦入試Ⅱ期

問題 次の文章を読んで間に答えよ。

人工知能が社会のさまざまな場面で活用されるようになる時代に懸念されること、人工知能を対象とした「無謬性神話」が生まれるのではないかということである。「人工知能は無謬である（人工知能の判断によって個人の自由が制限されても良い）」というタイプの無謬性神話が社会に広く共有される、問題が生じる。

(中略) ディープラーニングによって進化する人工知能は、それ自体が自由な試行錯誤の産物であるといえる。しかし、社会の中で、人工知能が活用されるとき、人々は、人工知能の判断に「無謬性」を求めるだろうか。たとえば、金融機関が投資対象の証券を選別する作業や、融資対象の人間の信用度を評定する作業に人工知能を使うとき、自動車（自動運転車）を人工知能が運転するとき、人工知能が労働者の適性を判断するとき、……そのような場面で社会が人工知能の判断に「無謬性」を求めるならば、そして、人工知能の無謬性を前提にして、さまざまな意思決定がされるならば、人間の自由は大きく損なわれかねない。

現実のビッグデータの集中と利用の動きをみると、そのような社会になる恐れは必ずしも否定できない。GAFA(アマゾン、グーグル、フェイスブック、アップル)など一握りのIT企業が収集した個人データは膨大である。かれらがビッグデータを独占し、そのデータを使って学習した人工知能が人間の重要な意思決定にかかわるようになれば、誰もGAFAの人工知能の判断に対して異を唱えることはできなくなる。

これは、「人工知能が絶対的に正しい」ということが示されたわけでは決してないのだが、「人工知能は、事実上、無謬の存在とみなしてよい」という社会的合意を作り出すかもしれない。そのような合意の下では、個人の人生の重要な選択（進学、職業、結婚、居住地、……）は過去のデータから人工知能によって決定され、個人の自由（特に試行錯誤を行う「権利」）は奪われてしまうかもしれません。

これはまさに人工知能によって社会が管理・統制される全体主義の未来図である。そこでは、人工知能は個人から自由を奪い、行動を（本人が気づかぬうちに）強制する為政者に準ずる存在となり、『一九八四年』[オーウェル、2009]でジョージ・オーウェルが描いた世界と同じようなディストピアが現出する。

(2024PH-H-1)

-1-

現在、巨大IT企業で進んでいるビッグデータの寡占がさらにこのまま進めば、ディストピア的未來が来る可能性は高くなるだろう。19世紀から20世紀にかけての世界経済で、産業構成的な巨大独占企業が市場を独占させ、大きな弊害を生んだことと同様の独占の問題がネットビジネスの世界で起きつつある。19世紀末から20世紀初頭の米国で反トラスト法によって独占禁止政策が進んだように、個人データや顧客データの利用について独占禁止を政策として実施し、人工知能をめぐる市場の競争状態を健全化することが必要かもしれない。

データ独占禁止政策が政策として必要であることを、いまの経済学で論證することは難しい。データ利用（それによって人工知能の学習を進めるこ）という活動には正の外部効果がある。データをたくさん使えば使うほど、追加的なデータの価値が上がるという、いわば「規模の経済」という性質である。このような性質を持つので、データ利用産業には、多数の企業が競争するよりも、少數の企業の独占（または寡占）になる方が効率的になるという性質がある。

出典：小林慶一郎「第3部 人工知能と社会 可謬性の哲学」、西山圭太、松尾豊、小林慶一郎『相対化する知性 人工知能が世界の見方をどう変えるのか』日本評論社、2020年。

【語句の説明】

*無謬

理論・判断などに、誤りが無いこと。

*ディープラーニング

データの背景にあるルールやパターンを学習するために、多層的（ディープ）に構造で考えるデータ分析の方法。

*ディストピア

反理想郷、暗黒郷。理想郷（ユートピア）の対義語。

*正の外部効果

ある経済主体の経済活動が、市場を介さずに、他の経済主体の経済活動に及ぼす望ましい影響。

-2-

(2024PH-H-2)

問1 人工知能の「無謬性神話」とは、具体的にどのような状況を意味し、そのような状況では、どのような問題が生じる可能性があると筆者は述べているか、200字以内で説明せよ。

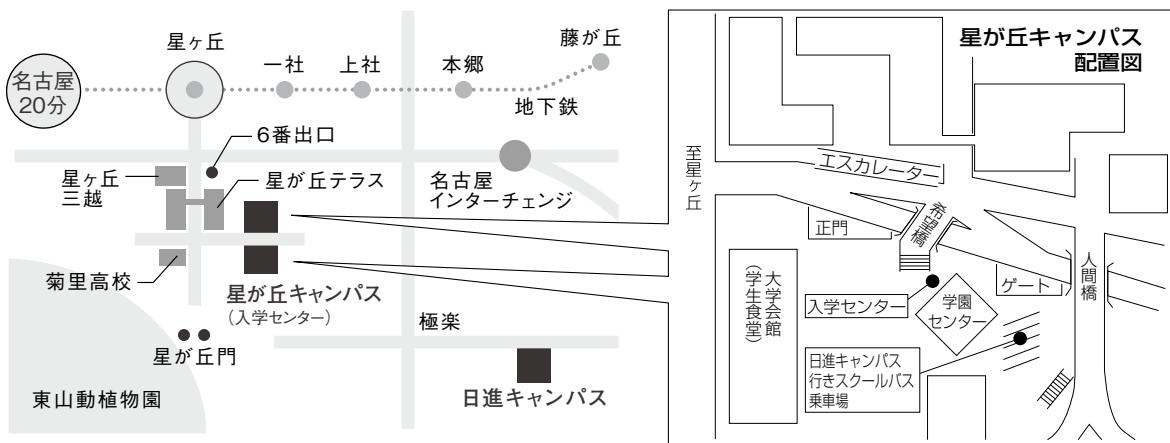
問2 一握りのIT企業がデータを独占することの利点と欠点として、どのようなことが考えられるか、各々の具体例を挙げながら、600字以内で述べよ。

(2024PH-H-3)

-3-

アクセスマップ

本学には駐車場がありませんので、来学の際は、公共交通機関をご利用ください。



星ヶ丘キャンパス 名古屋市千種区星ヶ丘元町17-3

■地下鉄 地下鉄東山線「星ヶ丘」下車、6番出口より徒歩5分

日進キャンパス 愛知県日進市竹の山3丁目2005番地

■地下鉄・市バス 地下鉄東山線「本郷」から市バス「猪高緑地」行き、終点下車、徒歩4分(合計20分)

■スクールバス 無料スクールバスで、星ヶ丘キャンパスから20分または地下鉄鶴舞線「赤池」から20分

学外試験場

浜松試験場

会場名：ホテルクラウンパレス浜松

所在地：静岡県浜松市中区板屋町110-17

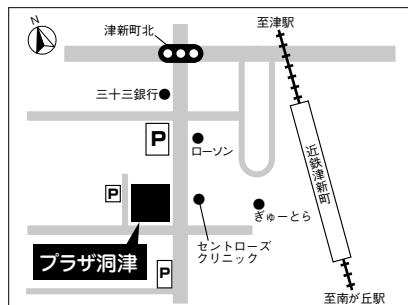


JR「浜松駅」徒歩3分
遠鉄「新浜松駅」徒歩5分

津試験場

会場名：ホテルプラザ洞津

所在地：三重県津市新町1丁目6-28

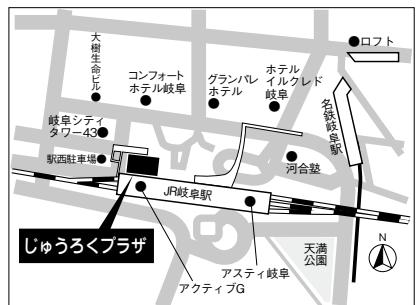


近鉄「津新駅」徒歩2分

岐阜試験場

会場名：じゅうろくプラザ (5F)

所在地：岐阜県岐阜市橋本町1-10-11



JR「岐阜駅」北口 徒歩2分
名鉄「名鉄岐阜駅」JR岐阜駅方面に徒歩7分

入学に関するお問い合わせ先

帽山女子大学 入学センター

〒464-8662 名古屋市千種区星ヶ丘元町17-3

入学相談フリーダイヤル ☎ 0120-244-887

E-mail happy@sugiyama-u.ac.jp

URL <https://www.sugiyama-u.ac.jp>